

## 大農が目指す5年後の姿

### I 学校の現状や課題

#### 【学校の現状】

秋田県最初の農業高校として、明治26年の開校以来、様々な分野に3万人を超える人材を輩出してきました。本校は、農業科学科、食品科学科〔フードサイエンス専攻、フードビジネス専攻〕、園芸科学科〔フラワークリエイト専攻、バイオテクノロジー専攻〕、生活科学科〔ヒューマンサービス系、ライフデザイン系〕の4つの学科において、各分野における基礎的・基本的な知識の習得、技術の定着を図りながら、地域社会の発展に寄与する人材の育成に力を入れています。

最近の傾向としては、現在の学科体制になってから女子生徒からの関心が高まり、入学生のうち女子の割合が6割ほどまで増えています。進路状況は、進学、就職がそれぞれほぼ半数で、特に県内就職を希望する生徒が多いことが特徴です。ただ、非農家出身の生徒が約半数と多く、農業後継者を目指すとする生徒が少ない状況です。また、大嶋農場の畜舎等は老朽化が進んでおり、今後、実習への影響が心配されます。

#### 【課題】

- 1 少子化にともなう生徒数の減少  
→農業高校としての特色を生かした学校づくりによる定員確保
- 2 農業基盤構造の変化にともなう農業後継者の減少  
→就農啓発活動と新規就農者としての出口づくり
- 3 農業高校としてのさらなる学びの充実  
→魅力ある農業への実践的な取組と積極的な情報発信、畜舎等の更新に向けた検討

### II 学校を取り巻く将来の状況の予測

- 1 地域全体の少子化と農業の高齢化が加速し、経営の大規模化・法人化が求められます。
- 2 A I や I o T など I C T を農業分野に活用したスマート農業の導入が急がれます。
- 3 安全で安定的な食糧生産確保のため、G A P や H A C C P の認証取得が必要になります。
- 4 社会的環境変化に柔軟に対応する経営者を育成し、新しい価値の創造に取り組もうとする人材を育てる必要があります。
- 5 歴史と伝統ある学校として、不易の価値を受け継ぎ、未来へ飛躍する地域のリーダーを輩出することが求められます。

### III 目指す生徒像及び学校像

#### 【目指す生徒像】

- 1 心身ともにたくましい生徒
- 2 主体的・実践的に行動する生徒
- 3 生命を大切にする生徒
- 4 郷土を愛し、地域に貢献する生徒

## 【目指す学校像】

### 郷土の元気をつくる人材の育成 ＝ 3年間を通じたキャリア教育の充実＝

#### 1 心身ともにたくましい生徒を育成します

- 教育活動全体をとおして、健康・安全で活力ある生活を送るための基礎を養います。
- 体験活動を充実させ、豊かな心や創造性の涵養を目指します。
- 農業クラブ活動や部活動を活性化し、全国大会等を目指します。

#### 2 主体的・実践的に行動する生徒を育成します

- 主体的に取り組む態度と確かな学力を身に付けられるよう、授業改善を図ります。
- 課題発見力と課題解決力を養い、実践力を身に付けられるよう、研究活動の充実を図ります。
- 多様な能力を伸ばすとともに各種技能を身に付けられるよう、資格取得を推進します。

#### 3 生命を大切に作る生徒を育成します

- 道徳教育を推進し、生命や人権を尊重する心を養います。
- 持続可能な循環型社会の実現に向けた、農業教育と環境教育を推進します。
- 安全・安心な食料の生産と供給に対応できる、農業教育を推進します。

#### 4 郷土を愛し、地域に貢献する生徒を育成します

- 地域に貢献しようとする意識の向上を目指し、地域や地元企業との連携を強化します。
- 地元への就職や進学に強い学校として、地域からの信頼を高めます。
- 地域の活性化に貢献し、地域に愛され、必要とされる学校を目指します。

## IV 5年間を通しての具体的目標

#### 1 心身ともにたくましい生徒を育成します

- 一か年皆勤者 50%以上
- 部活動加入率 80%以上
- 全国大会レベル出場部活動数 5つ以上
- 農業系大会全国大会入賞 3組以上

#### 2 主体的・実践的に行動する生徒を育成します

- 国公立大学進学者 5名以上
- 公務員合格者 5名以上
- 専門性を生かした進学 20%以上
- 農業技術検定3級以上の取得率 90%以上
- 家庭科資格三冠王  
コース選択者の70%以上

### 3 生命を大切にする生徒を育成します

- 道徳教育全体計画の充実と実践
- あいさつや基本的な生活習慣の定着
- 地域の祭典や各種ボランティア活動への積極的参加
- 循環型農業・再生エネルギーの創出
- 秋田県版 GAP や HACCP 認証の取得
- SDGs（生命と環境に関わる分野）に関する取組の推進

### 4 郷土を愛し、地域に貢献する生徒を育成します

- 外部機関との連携及び外部講師の活用 年間35回以上
- 秋田の多様な資源（食料・森林・観光等）を活用する研究の推進
- 県内就職率 90%
- 研究成果の普及
- 「あきたECOライス」での全量出荷
- 地域防災の拠点としての整備

## 具体的な取組等

### 1 心身ともにたくましい生徒を育成します

- 健康教育の充実と皆勤賞表彰
- 部活動紹介や強化費の充実
- プロジェクト研究の推進
- 指導者の研修や体制作り
- 学校行事を通じた企画力・調整力の育成
- 個に応じた指導や支援計画の充実

### 2 主体的・実践的に行動する生徒を育成します

- 進学・公務員希望者の早期・継続指導
- 企業紹介、インターンシップ、就農啓発事業等の充実と体系化
- 高校を核とした産学官連携の推進
- アグリマーケティングハウスの活用
- 東京都立芝商業高校との学校間連携
- 保育園・介護施設実習の実施

### 3 生命を大切にする生徒を育成します

- 農業教育を通じた生命の授業
- 相手を尊重する言葉や態度の育成
- 家庭と協力した生活習慣指導
- 学校林での体験学習や田沢湖の水質改善活動
- 除雪や大曲の花火ボランティアへの積極的参加

### 4 郷土を愛し、地域に貢献する生徒を育成します

- 地元企業との継続的な連携
- 農業科学館ナビ検定への取組
- サキホコレの先行栽培と情報提供
- 学校の取組をPRするHPの工夫
- 地域と連携した防災教育の充実
- 地域やOB・OGとつながる事業の展開